

# ピタッとアームの定期的に点検頂きたいポイント

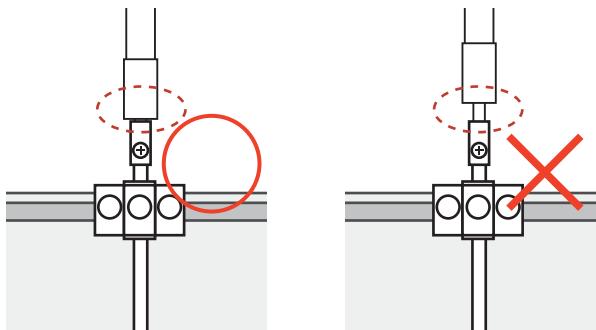
page.1

安全と破損防止の為、本紙（2枚綴）の7つの項目を定期的に点検お願いいたします。

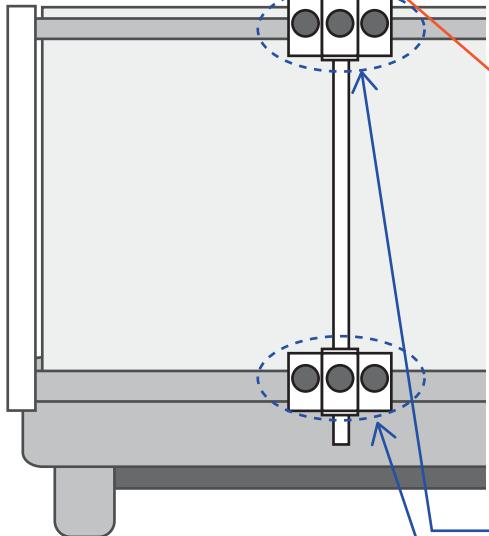
## ① テレビが映っているか確認

アンテナの状況が変わった等で放送が映らない・乱れる場合がございます。その際はテレビ放送波状況は良好か確認と改めてテレビ設定よりスキャンを行ってください。

## ② アームがポールにしっかりと挿入されているか確認



悪い例：アームが最後まで入っていないなど。



## ③ アーム抜け防止ネジの状態確認

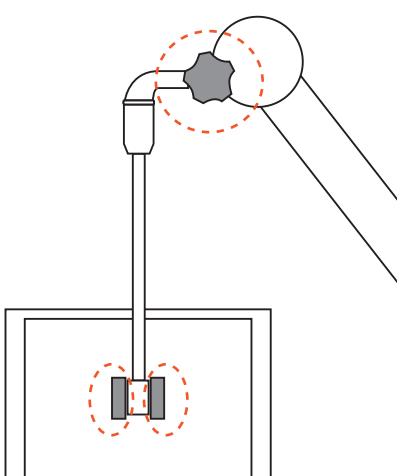
ポールの「アーム抜け防止ネジ」が、正しく締まっているとポールからアームが抜けません。

緩んでいる場合は最後までしっかりと締めてください。



## ④ 上 / 下クランプそれぞれの黒ボルトが全てしっかりと締まっているか確認（計6箇所）

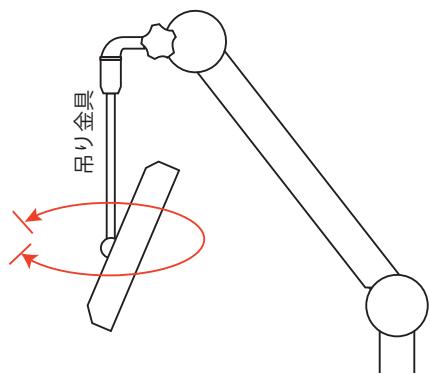
緩みがある場合は、限界までしっかりと締めてください。  
より力を入れるよう「手袋」を使用を推奨。



## ⑤ アームの3ヶ所の黒ボルトが締まっているか確認

（吊り金具上部・テレビ裏側の両側の3ヶ所）

緩みがある場合は、限界までしっかりと締めてください。  
より力を入れるよう「手袋」を使用を推奨。



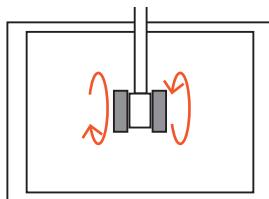
## ⑥ テレビの向きの確認

テレビへ繋がる部分（吊り金具）は  
テレビが内側正面の状態より左右へ半回転ずつ、  
計1回転分以上回せないようになっています。

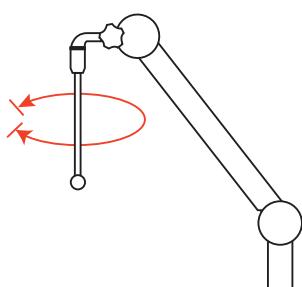
テレビの画面側をアーム内側へ向けた状態で  
左右方向に同じだけ回せば正常です。

一方向にしか回転出来ない場合はテレビの取付向きが誤っています。下記の通り修正下さい。

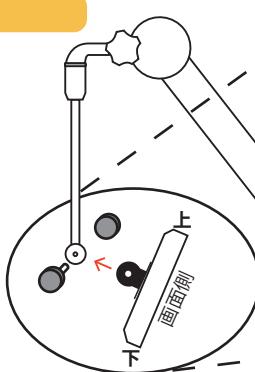
### テレビ向きの修正方法



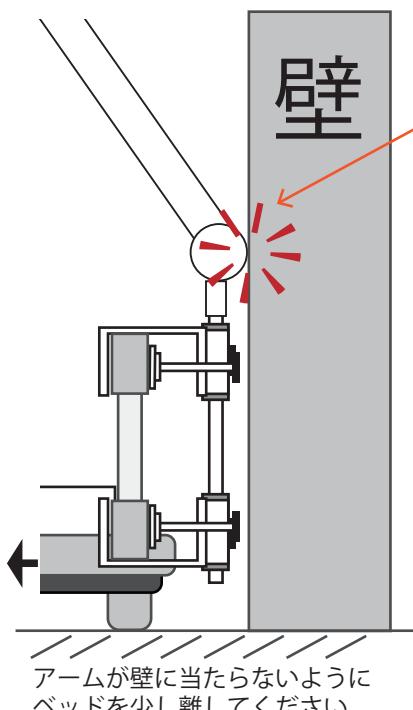
(1)  
テレビ側の各配線を外して、  
テレビが落ちないように  
支えながら、裏側の黒ボルト  
両側を緩めて外す。



(2)  
吊り金具を180°回転させます。  
アーム内側から見て、  
左右方向に同じだけ回せる事  
確認下さい。



(3)  
テレビ画面側をアーム内側及び上下方向に注意し  
吊り金具にはめて下さい。  
↓  
ボルト側を大きい穴の方から入れて  
吊り金具の穴・小さい穴まで通し、最後まで  
回し締めてください。  
↓  
小さい穴側から出てきたボルトネジに  
ナットを回し締めてください。  
最後に、テレビの各配線を元通り接続下さい。



## ⑦ アームカバーが壁に当たってないか確認

壁に当たると正常な使用が出来ず、破損の原因にもなります。  
当たらないようにベッドを少し離してください。

アームが壁に当たらないように  
ベッドを少し離してください。